

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会

2023.11.9 (木) 晴れ 参加者：7名 9:00～14:30

第一火曜日の天気が、強風や雨ということで9日に延期しました。 参加者は少なかったのですが、ゆっくりと時間かけて見回すことができました。 この日のトピックスは国の天然記念物オオヒシクイを保野遊水地で見ることができました。いつも見かけるカモ類より大きな姿で驚きました。

野の花苑—見晴らしの丘—くわくわ森—森西側側溝—田んぼ—保野遊水地—下飯田遊水地

外一外来種 園一園芸種

野の花苑

野菊の見分け方

野紺菊 ノコンギク

日向を好み明るい林縁などに咲く
花の大きさは 2-2.5cm
分岐してたくさんのお花をつける



花色は淡い紫色から白色



総苞片の先端は紫色を帯びそりかえっている



葉はやや卵形、両面に短毛ザラザラしている

関東嫁菜 カントウヨメナ

畦道など、やや湿り気のある場所に咲く
花の大きさは 2.5cm ほとんど分岐せず1株に 1-2輪の花をつける



花色は淡い紫色花びらの数が多い



総苞はおわん型



葉はやや卵形、質感は薄くザラつきはない

白嫁菜 シロヨメナ

やや薄暗い場所を好み
林内や林縁などに咲く
花の大きさは 1.5-2cm
分岐した茎にまとまって咲く



仲間のヨメナに似て白い花をつけることから名づく



総苞は細長く筒状で全体に緑色



葉は細い橢円形、質感はザラつき先が尖る

白山菊 シラヤマギク

やや薄暗い場所を好み
林内や林縁などに咲く
花の大きさは 1.5-2cm
草丈は 1-1.5m



花びらの数が少なくまばらにつく



総苞は鐘型 総苞片は1列



茎や葉に短毛が生えザラつく長い葉柄に翼がある

キク科の仲間



薬師草 ヤクシソウ



紺菊 コンギク 園 野紺菊の改良種



石蕗 ツワブキ



家菊 イエギク 園 昔から日本の庭で咲く



黄実千両 キミセンリョウ



千両 センリョウ



太穂薙刀香寿 フトボナギナタコウジュ



赤地利蕎麦 シャクチリソバ インド北部原産



大文字草 ダイモンジソウ ワサビ田の石の上



竜胆 リンドウ 日差しがないと咲かない



高野筈 コウヤボウキ 高野山で筈として使う



野原薊 ノハラアザミ



野薊 ノアザミ 夏アザミがまた咲いている



桜蓼 サクラタデ 白花より大きめの花



柚子 ユズ 今年は小ぶり



糸薄 イトススキ



小紫 コマラサキ 園 残っている実はこれくらい、鳥に食べられた痕



花縮砂 ハナシクシャ ジンジャー 季節外れ



野の花苑



キタキチョウ 豆科
萩などが食草



ヒメクダマキモドキ
木の葉上にいるバッタ



ホシホウジャク
ホバリングで吸蜜中



ホシホウジャク
珍しく止まっている姿



ツマグロオオヨコバイ
13mm バナナムシと呼ばれている



キタテハ カナムグラ
が食草



ツマグロヒョウモン
♂♀交尾中 スミレが食草



キジバトの羽 竹林の奥で羽が散らばる
猛禽に襲われた様子



イチモンジセシリ
15-21mm イネ、ススキ、エノコログサ食草



ホソヒラタアブ 11mm
幼虫はアブラムシを食べ
成虫は花粉や蜜を吸う



ツマグロキンバエ
5-7mm 花の花粉や蜜
を吸う 複眼は縞模様



シマハナアブ 13mm
野紺菊には小さなアブや花
バエがたくさん来ていた

見聞きした野鳥：エナガ・シジュウカラ・コゲラ・ヤマガラ（今年は餌のエゴの実が不作で、姿を見かけなかった）これらは30羽くらいの混群で飛んできた

ヒヨドリ・ハシブトガラス 混群：2種3羽以上の群れで、互いに25m以内、最短5分は維持され、同じ方向に30m以上移動するという定義があ類。 餌を確保しやすい、たくさんの目で敵を見つけやすいなどの理由がある。

昆虫：ヒメクロホシホウジャク・トラマルハナバチ・ジョロウグモ♀（ギンメッキゴミグモが居候）

弁天坂



野苺 ノイバラ



吐切豆 トキリマメ



真葛 サネカズラ



猿
サルトリイバ
茨ラ



吉祥草 キチジョウソウ
庭に植えてみると縁起が
良いと言われる



クズヒトヨタケ



黒金鯉 クロガネモチ
苦勞がなく金持ちにな
れると縁起木



チャバネセシリ
今年は多く見られた

見晴らしの丘



河津桜 カワヅザクラ
季節外れの数輪が



エゴノキ こちらも同
じく季節外れの数輪が



ツマグロヒヨウモン
子孫を残さないと



オンブバッタ

くわくわ森



ゴンズイ



ガマズミ



ムラサキシキブ



大薊 タイアザミ
棘がタイアザミ



秋の田村草 アキノタ
ムラソウ 1本だけ



千両 センリョウ 野の
花苑の実を鳥が運んで



薬師草 ヤクシソウ
日当たりが大事



釣船草 ツリフネソウ 花が終わりタネだけでしたが、太ったタネを触るとパンと弾けタネが飛び出す ホウセンカの仲間 花言葉「私に触れないで」

森 西 側 側 溝



シロヘリクチブトカメムシ
幼虫 チョウやガの幼虫の
体液を吸う肉食



有明葍 アリアケスミレ 季節外れの花が咲いている
この時期は、右写真のように閉鎖花がタネを飛ばす



西洋タンポポ アスファ
ルトの道でも咲いている



片喰 カタバミ 夕方にな
ると葉がたたまれる



荒櫻 アラカシ ドング
リの帽子[かくと]は横線



アオスジアゲハ
クスノキ、シロダモ食草



ツマグロヒヨウモン 幼虫
道路脇のスミレが食草



ハリカメムシ
イネ科の汁を吸う

田んぼ



大地縛 オオジシバリ



関東嫁菜 カントウヨメナ



犬蓼 イヌタデ



犬鬼灯 イヌホオズキ



ススキ



オギ



エノコログサ・ヌカキビ



野葡萄 ノブドウ 実がカラフルに色づく 不食



蝦蔓 エビヅル 黒い実が甘くなってきた



仏の座 ホトケノザ 群生している



常盤檜 トキワハゼ 冬でも咲くので「常盤」



蔓豆 ツルマメ 実が枝豆にそっくり 大豆の原種



葛 クズ 実が細長く 10cmくらいの長さ



フタホシヒラタアブ



ナガコガネグモ



ハクセキレイ



ウラナミシジミ 南から繁殖を繰り返しながら北上する



コバネイナゴ 葉を掴みながらムシャムシャと



侯野遊水地



秋茱萸 アキグミ 実はまだ渋い



溝蕎麦 ミゾソバ



オオバン



コガモ



オオヒシクイ (天然記念物) 体長 90cm 羽を広げると 180cm 大型のガン 関東地方では茨城県にカムチャッカから飛来



コサギ



カツブリ

侯野遊水地・境川 野鳥：アオサギ・スズメ 30羽・イカルチドリ 4羽・ハクセキレイ・セグロセキレイ・カワセミ♂

下飯田遊水地：オナガ群れ・キセキレイ・モズ・イソヒヨドリ♀・カワセミ♂・ムクドリ・ジョウビタキ♀

下飯田遊水地～天王森泉公園～俣野遊水地 2023年11月9日(木) 晴れ

N.Kurakawa



オナガ 下飯田遊水地



オナガ 下飯田遊水地



カワセミ♂ 鶯舞橋から



ダイサギ 鶯舞橋から



ホシホウジャク 天王森泉公園 色々な花に吸蜜に来いました。



カツブリ 鶯舞橋から



コサギ 俣野遊水地



カワセミ 俣野遊水地